

【1999年2月8日】緊急要望書(厚生年金基金の代行返上論等について)

厚生年金基金連合会

### 緊急要望書

平成11年2月8日

厚生年金基金連合会

いわゆる代行返上論等については、厚生年金基金の上乗せ部分の制度的位置付けや受給権保護措置をどうするのか、関係の税制がどうなるのかなど問題が多々あり、また、年金審議会意見書においても代行制度の在り方については引き続き検討すべきとされておりその帰趨等も見極めつつ、代行制度の意義を生かしていくとの考え方を堅持し対応されたい。

また、厚生年金基金の運営基盤の整備については、これまで厚生年金本体との財政的中立性の確保など再三にわたり要望してきたとおりであり、厚生年金本体の保険料引上げの凍結に当たっても、その趣旨を踏まえ厚生年金基金の運営に支障が生じないように、凍結期間中について適切な措置を講ずるとともに、早期に引上げ凍結を解除し所要の措置を講じられたい。

更に、企業年金法の制定に合わせて、早期に確定拠出型年金を導入されたい。

平成11年2月8日

厚生年金基金連合会

理事長 吉原 健二

厚生省年金局長

矢野 朝水 殿